

ツバメが教えた子を育てる基本

R3.6.9 新聞 朝刊 投書より

わが家の車庫でかえったツバメの子が先日、巣立ちました。

4 年前から毎年、ひとつがいが営巣するようになりました。

一生懸命、子育てをする姿に、心をうたれます。

そして、気付いたことがあります。

子育てって難しいことだらけと思っていたのですが、そうじゃなかったのだと。

朝、早く起きる。餌を運ぶ。フンの始末をする。子育てを分担する。危険を知らせる。助けを呼ぶ。

親ツバメたちはひたすらこれを繰り返しているのです。私を含め、世の中のお母さん、お父さん方は不安に思われることもあると思いますが、人間の子育てにもあてはめれば、少しは気持ちが軽くなるような気がします。



この投稿を読んで、まず、あらためて多くの親たちが、子育てについて悩んでいるのだなと思いました。投稿された方は、50 代の男性だったと記憶していますが、この方もまた子育てに悩んでおられる。

しかし、ある朝、この方は、ツバメの子育ての様子から、毎日、毎日、子を思い、愛情を注ぎ続けること、そしてそのずっと変わらない、規則正しい継続こそが、子どもを育てる基本であると悟られたように感じました。

大人の子どもに向かう心がいつも安定し変わらないことが、子どもの心の安定や好ましい成長につながるのではと思いました。「子どもは大人の鏡」……自らも日々の自分の行いを見つめなければと思いました。

・その他、お知らせ

非常勤講師の配置について

北澤 友恵 先生の妊娠に伴う担当時間の軽減講師として、6 月 21 日（月）から 津島 百合 先生が着任されています。津島 先生には 1 学期の終業式 7 月 20 日（火）までの予定で週 5 日・計 13 時間勤務していただきます。また、2 学期の始業式 8 月 25 日（水）からは、継続か、または別の方が軽減講師として同じ勤務形態で配置される予定です。お知りおきください。そして、津島 先生、どうぞよろしくお願いいたします。

因みに、北澤 先生は、11 月 7 日（日）から産休に入られる予定です。



全校朝会の話より

6 月 8 日の全校朝会（リモート方式）で「あいさつ」と「熱中症予防（コロナ感染対策）」についての話をしました。まず、「あいさつ」については、4 月から頑張っている児童の姿を具体的に褒めたあとあいさつをする理由について話をしました。すると次の朝から校門でのあいさつが、どの学年もいつもより確実にふえていました。これが教室内まで広がるといいです。そして、楽しい朝が続くといいです。

次に、「熱中症予防（コロナ感染対策）」については、学校内で、体育の時間だけでなく休み時間も屋外で体を動かす時は、マスクを外すことを児童に指導しました。ただし理由があって外せない人もいてよいこと。また理由を担当の先生や校長先生に伝えることを呼びかけました。これから猛暑日が頻繁に来ることが予想されます。適宜、校内放送で、マスクを外すようアナウンスをしつづけます。

